

**CASBEE神戸ver.3**  
 (株)住友倉庫(仮)神戸港ポートアイランドL6新倉庫建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.30</b>			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.2</b>	0.15			<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>		
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	0.60	<b>3.0</b>		
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	<b>3.0</b>		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								<b>3.0</b>		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								<b>3.0</b>		
1.3 吸音		床・壁の2面に吸音材を使用している				<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.8</b>	0.35			<b>2.8</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50			
1 室温						3.0	0.38	<b>3.0</b>		
2 外皮性能						3.0	0.25	<b>3.0</b>		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						<b>2.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		
2.3 空調方式						3.0	0.30	<b>3.0</b>		
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.7</b>	0.25			<b>2.7</b>
3.1 昼光利用						<b>1.8</b>	0.30			
1 昼光率						1.0	0.60	<b>3.0</b>		
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	0.40	<b>3.0</b>		
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御						3.0	1.00	<b>3.0</b>		
3.3 照度		全面照明方式で600lxとしている				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>		
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>		
<b>4 空気質環境</b>						<b>4.1</b>	0.25			<b>4.1</b>
4.1 発生源対策						<b>5.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用している				5.0	1.00	<b>3.0</b>		
4.2 換気						<b>3.3</b>	0.30			
1 換気量						3.0	0.33	<b>3.0</b>		
2 自然換気性能		開閉可能な窓を有し 自然換気有効開口面積が床面積の1/30以上で				4.0	0.33	<b>3.0</b>		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	<b>3.0</b>		
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		(建築物衛生法の非対象)				-	-			
2 喫煙の制御						3.0	1.00			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.1</b>	0.40			<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ・収納性		(整備対象外)				3.0	0.50	<b>3.0</b>		
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.50	<b>3.0</b>		
3 バリアフリー計画						-	-			
1.2 心理性・快適性						<b>3.0</b>	0.30			
1 広さ感・景観						3.0	0.33	<b>3.0</b>		
2 リフレッシュスペース						3.0	0.33			
3 内装計画		経済設計及び機能重視の為、機能は確保しつつ華美な内装としない				3.0	0.33			
1.3 維持管理						<b>3.5</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある内装材、防鳥対策、外部鉄部処理など行っている				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.0</b>	0.30			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.2</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新必要間隔20年以上の仕上げ材を使用している				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要配管にC以上を使用している				4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						<b>3.0</b>	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		震度クラスA を設定している				4.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.8</b>	0.30	-	-	<b>3.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		事務所エリア階高が 3.9m以上である	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率が 0.1未満 である	5.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.6</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		天井裏スペースにて配管している	4.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		構造・仕上を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		仕上を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.13	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.44	<b>5.0</b>	0.63	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓類及び節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.7</b>	0.60	-	-	<b>3.7</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		磁気質タイル:エントランス、吸音材料:各室天井、ビニル床材:M2F書庫・備品	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		タイルカーペット、OAフロア、移動間仕切りを採用している	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まないビニル床シート接着剤や塗床剤を採用している	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		(ガス消火設備がない)	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		DP=0かつGWP=1以下の発泡材等を利用している	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		CO2排出率が参照値に対して50%~100%である	<b>3.9</b>	0.33	-	-	<b>3.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音		(指定地域外)	3.0	0.50	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		(日影規制なし)	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	